

# クリントートCEの効果確認試験

JA道北なよろ

堀川 良浩



試験区(栽培前)



試験区(栽培終了)



試験区(ハウス内)



試験品(保管)

## 試験目的

クリントートCE内張り効果確認試験

## 試験作物 及び品種

アスパラ

## 試験資材 及び数量(規格)

クリントートCE(0.08mm×840cm×40m) 2枚

## 慣行資材

農ポリ(0.07mm×420cm×40m) 4枚

## 栽培方法

### 収穫日

慣行区:4月上旬  
試験区:4月上旬

## 資材使用期間

3月上旬～5月下旬

## 試験区面積

600㎡

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

厚みは試験品の方が0.01mm厚いが、軽いため作業は楽だった。

扱い方も慣行品と変わらずに使用できた。

840幅が一枚物なので作業がし易かった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と差はなかった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 試験品は透明度が高いのでよい。また、農POは層になった構造でできているのもあって、温度が上がりやすいように感じた。

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

全く問題なし。

クリントートは透明性も高いため、長く使用できそうでよい。

### (5)保温効果について

例年使用していた通常の農ポリ内張りとの差は見られなかった。問題なく使用できた。

## モニター感想

作業性も強度も特に問題なく使用できた。

ハウス内の温度を上げるには慣行品と比較しても問題なく、保温効果は高かった。

## JA担当者の感想(購買課 類瀬 氏)

農POの特性上、農ポリと比較して多層構造になっているので保温性は非常によくなるため、使用は全く問題ない結果となった。

流動性も良く、強度面でもPOの方が性質は良いため、農POを使用するメリットはあると思われる。今後は、何年間使用できるかを確認したい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

## 将来希望する資材について

安価な資材を希望。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他